

(令和元年 5 月試験研究業務月報)

試験研究課題：新品種育成に関する試験(1)系統比較試験第 11 群

研 究

宇治茶の新品種育成に向けて

当所では、より生産性や品質に優れた茶の品種開発に取り組んでいます。

現在は、煎茶用品種の育成を目標に、府内各地から収集した系統※の生育状況や収量等を調査しており、昨年度の試験結果で有望と思われた候補系統（「53 在-54」等）の収量は、標準品種「やぶきた」と比べ、同等～1.5 倍と有望であることが分かりました。今後は、香りや味等の品質を調査し、宇治茶として市場性が見込めると判断できれば、品種登録の手続きを進めます。

※ 系統：種子から育てた茶樹を挿し木で増殖したもの



収穫面積算出のためうねの長さを測定

農 林 セ ン タ ー （ 茶 業 研 究 所 ）